

## 【基本目標Ⅱ 男女があらゆる分野へ参画できる社会づくり】

### 評価の目安

- A：達成された（90%以上）
- B：概ね達成された（80%以上）
- C：あまり達成されていない（60%以上）
- D：達成されていない（60%未満）

### 施策の方向1 政策・方針決定の場への女性参画の拡大

#### 施策(1) 政策・方針決定の場への女性参画促進

事業	平成30年度実施状況	評価
審議会・委員会等への女性委員の登用促進 <b>【政策推進課】（全課）</b> 《事業内容》 女性の意見を市の政策や方針に反映させるため、各種審議会・委員会等への女性の積極的な登用を図ります。	各種審議会・委員会等に占める女性委員の割合 26.9%（平成30年4月1日現在） 総委員数1,014人 うち女性委員数273人  《評価・課題等》 目標値に達するためにも、女性の人材を各種審議会・委員会等の登用に活用していきます。	B
女性人材リストの整備 <b>【政策推進課・生涯学習課】</b> 《事業内容》 審議会・委員会等の委員の選任に活用できるよう、人材に関する情報を収集・整備します。	県が主催する指導者研修修了者や、市主催の女性講座修了者等の名簿を整備しました。  《評価・課題等》 今後も生涯学習課と協力しながらリストの整理を進めていきます。	A

#### 施策(2) 人材育成の推進

事業	平成30年度実施状況	評価
女性団体連絡協議会の連携と支援 <b>【政策推進課】</b> 《事業内容》 女性の活躍推進を目的に、女性団体の育成を推進し、組織の活性化を図ります。	男女共同参画社会の実現を目指して、女性の地位の向上と、住みよいまちづくりに貢献することを目的に組織されている大田原市女性団体連絡協議会の自主性を尊重しながら連携を図り、協力体制の強化を図りました。 加入団体：7団体  《評価・課題等》 団体の活動を支援していくとともに、新規加入に向けて働きかけをしていきます。	B
リーダー人材育成 <b>【政策推進課】</b> 《事業内容》 市民のリーダーとして活躍できる人材を育成するため、国内で実施している男女共同参画に関する講座や研修への参加を促します。	・とちぎウーマン応援塾 期 日：平成30年7月～10月（全6回） 場 所：パルティ とちぎ男女共同参画センター 参加者：1人（男性0人、女性1人）  修了者には、審議会・委員会等で今後も活躍していただけるよう働きかけを行っていきます。	A

## 施策の方向2 働く場における男女共同参画の推進（女性活躍推進計画）

### 施策(1) 働きやすい職場環境の整備

事業	平成30年度実施状況	評価
<p>雇用均等に関する周知 【<b>商工観光課</b>】</p> <p>《事業内容》 事業主に対して、男女雇用機会均等の確保や、多様な働き方のニーズに対応した就業環境づくり等の情報を提供するなど、周知に努めます。</p>	<p>市庁舎に男女雇用機会均等月間ポスターの掲示やリーフレットを設置し、男女雇用機会均等法の周知を図りました。</p> <p>《評価・課題等》 ポスターの掲示場やパンフレットの配置場所には、多種多様の掲示物や印刷物が混在しており、男女雇用機会均等法や就職環境づくり等に関する情報提供のみを際立たせるのは難しく、意識のある方しか注目していないおそれがあります。</p>	B
<p>育児・介護休業制度の普及啓発 【<b>商工観光課・総務課・政策推進課</b>】</p> <p>《事業内容》 市内企業に対し制度の普及啓発活動に積極的に取り組みます。</p>	<p>市庁舎に育児・介護休業制度の普及啓発のポスターの掲示やリーフレットを設置し情報提供を図りました。</p> <p>《評価・課題等》 ポスターの掲示場やパンフレットの配置場には、多種多様の掲示物や印刷物が混在しており、育児・介護休業制度に関する情報提供のみを際立たせるのは難しいと考えられます。</p>	B
<p>男女共同参画推進事業者表彰 【<b>政策推進課</b>】</p> <p>《事業内容》 男女共同参画に対して積極的な取組を行っている事業者を表彰します。</p>	<p>平成30年度受賞者 富士電機機器制御株式会社大田原事業所 大田原信用金庫</p> <p>《評価・課題等》 男女共同参画に対して積極的な取組を行っている事業者を募集し、表彰及び公表することにより、事業者の積極的な取組を啓発することができました。また、表彰式を市民力アップ講演会と同時開催することで、幅広い世代の市民に男女共同参画の意識づけができました。</p>	A
<p>女性活躍推進事業（再掲） 【<b>政策推進課</b>】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の心と体の健康講座 期 日：平成30年7月28日 場 所：トコトコ大田原市民交流センター視聴覚室 参加者：39名（男性0人、女性39人）</li> <li>・キャリアデザイン講座 期 日：平成30年9月7日 場 所：黒羽高等学校 参加者：144人（男性70人、女性74人）</li> <li>・親子ヨガ教室 期 日：平成30年10月10日、11月7日 場 所：トコトコ大田原子ども未来館レクリエーションルーム 参加者：16人（男性0人、女性16人）</li> <li>・父と子の料理教室 期 日：平成30年12月9日 場 所：トコトコ大田原子ども未来館親子ふれあいキッチン 参加者：8人（男性8人、女性0人）</li> <li>・ワークライフバランス講座 期 日：平成31年2月25日 場 所：大田原市役所本庁舎1階102・103会議室 参加者：42人（男性8人、女性34人）</li> </ul>	A

	<p>・子育てママの就労準備相談会（ハローワークと連携） 期 日：平成30年4月～平成31年2月 場 所：市内子育て支援施設 相談件数：就労相談 29件、子育てに関する相談 29件</p>	
<p>《事業内容》 社会に出る以前の在学時から男女共同参画教育の推進を図るとともに、男性への男女共同参画の意識の醸成を図るため、学生や一般市民、勤労者に向けて講座や講演会を実施します。</p>	<p>《評価・課題等》 大田原市地域女性活躍推進事業は、ハローワークや市内高等学校と連携し講座を開催するなど、それぞれの年代や立場に合わせた内容となっており概ね好評を得ています。</p>	
<p>各種ハラスメント防止に関する普及啓発 【商工観光課・総務課・政策推進課】</p>	<p>○大田原市職員研修計画に基づき管理職向けの研修を実施しました。 ・管理者研修（那須地区市町村職員共同研修）10名 ・顧問弁護士による講話（市独自）50名 ○市関係施設内にセクハラ被害等各種ハラスメントに関する相談窓口周知のポスターの掲示、パンフレット類の配置を行いました。また、職場等で受けたセクハラ被害に関する相談があった場合、速やかに関係機関や団体につなげる体制を取りました。</p>	A
<p>《事業内容》 セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントの防止に向けて、事業者や労働者、市民に向けた広報・啓発を行います。</p>	<p>《評価・課題等》 ○市の管理者向けに、ハラスメント防止のための各種研修を実施しました。 ○ポスターの掲示場やパンフレットの配置場には、多種多様の掲示物や印刷物が混在しており、相談窓口周知のみを際立たせるのは難しく、意識のある方しか注目していないおそれがあります。また、相談等の案件は特にありませんでした。</p>	

施策（2）起業・再就職への支援

事業	平成30年度実施状況	評価
<p>職業能力開発の周知 【商工観光課】 《事業内容》 職業訓練の各種講座や教育訓練給付制度等の支援策の情報提供に努め、求職者や在職者のスキルアップを支援します。</p>	<p>広報紙に職業訓練の各種講座や教育訓練給付制度の周知を掲載し情報提供を行いました。また、市庁舎にセミナー開催等のポスターの掲示やリーフレットを設置し、教育訓練給付制度等の周知を図りました。</p> <p>《評価・課題等》 ポスターの掲示場やリーフレットの配置場には、多種多様の掲示物や印刷物が存在しており、教育訓練給付制度の情報提供のみを際立たせるのは難しいです。</p>	B
<p>再就職希望者への支援 【商工観光課】 《事業内容》 子育て中の女性等の再就職希望者に対して、合同面接会や各種支援策等の情報提供に努めます。</p>	<p>市庁舎に大田原公共職業安定所や県などが実施している再就職希望者への教育訓練等のポスターの掲示やリーフレットを設置し情報提供を図りました。</p> <p>《評価・課題等》 ポスターの掲示場やリーフレットの配置場には、多種多様の掲示物や印刷物が存在しており、再就職希望者支援の情報提供のみを際立たせるのは難しいです。</p>	B
<p>地域職業訓練センター利用の促進 【商工観光課】 《事業内容》</p>	<p>大田原地域職業訓練センターの利用促進を図るため、職業訓練講座等の案内を広報紙に掲載しました。</p> <p>・認定外訓練 22講座 延べ受講者数1,907人</p>	B

<p>職業訓練講座を開設し、求職者の職業訓練や在職者のスキルアップに努めます。</p>	<p>《評価・課題等》 大田原地域職業訓練センターにおける講座・教室の受講率は高く、就職に備えての訓練及び既就職者の能力アップに寄与しています。</p>	
<p>求人開拓事業の実施 【商工観光課】</p>	<p>大田原公共職業安定所、大田原地区雇用協会と連携し、講演会や視察などの各種事業を推進し雇用機会の維持及び就職機会の拡大を図りました。</p>	B
<p>《事業内容》 大田原公共職業安定所、大田原地区雇用協会と連携し、雇用機会の維持及び就労機会の拡大を図ります。</p>	<p>《評価・課題等》 関係機関と緊密に連携しており、雇用機会の維持及び就職機会の拡大に繋がっているものと思われます。ただし、現状は厳しいです。</p>	
<p>女性起業家の育成支援 【商工観光課・政策推進課】</p>	<p>本市創業支援事業計画の創業支援事業者である大田原商工会議所で、創業塾を実施しました。受講者は8日間（30時間）で創業の構想、営業・販売方法、売上計画、創業プラン等を学習しました。 ・創業塾受講者 19人（うち女性 13人）</p>	A
<p>《事業内容》 起業学習プログラム「創業塾」との連携を図り、女性起業家の育成を支援することによって性別にとらわれない豊かな人材の育成を図ります。</p>	<p>《評価・課題等》 創業塾や各種創業支援事業を通し、女性企業家の育成に寄与しています。 関係機関と連携を図り、女性起業家の育成支援に取り組んでいきます。</p>	

### 施策(3) 農業等における男女共同参画の推進

事業	平成30年度実施状況	評価
<p>農村女性リーダーの育成 【農政課・農業委員会】</p> <p>《事業内容》 女性農業士の育成のため、相談や団体の支援を行います。</p>	<p>県等が主催する研修会や情報交換会等に参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期日：平成30年5月22日（火） 「農業・農村男女共同参画研修会」3人参加</li> <li>・ 期日：平成30年8月22日（水） 「農業・農村におけるワークライフバランス推進研修会」7人参加</li> <li>・ 期日：平成30年8月30日（木） 「県農村生活研究グループリーダー養成研修会」2人参加</li> <li>・ 期日：平成30年10月22日（月） 「女性農業委員研修会」3人参加</li> <li>・ 期日：平成30年11月7日（水）～8日（木） 「農村生活研究グループ協議会全国会議香川大会」1人参加</li> <li>・ 期日：平成31年2月5日（火） 「アグリライフ・フォーラム2019」13人参加</li> <li>・ 期日：平成31年2月15日（火） 「農村女性トップリーダー懇談会」4人参加</li> </ul> <p>《評価・課題等》 ○「とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」に基づき、県等で研修等が開催され、多くの会員が参加しました。農業・農村における女性の活躍が期待されます。 昨年度より参加人数が若干増加しているため、女性農業者の活躍の推進に向けて、研修会等の周知を継続したいと考えます。 ○平成29年7月に5人の女性農業委員が就任して以降、農村女性の指導的な立場として活動するための支援を行ってきました。 引き続き、積極的に研修会等に参加し、支援を行っていきます。</p>	A

<p>農村生活研究グループ協議会への支援 【農政課】</p> <p>《事業内容》 女性農業者を中心とする農村生活研究グループ協議会への支援を行うことで、農業に携わる女性の活動を支援します。</p>	<p>・親子体験教室 期日：平成30年7月1日（日） 親子5組13人（女性10人 男性3人）参加</p> <p>《評価・課題等》 前年度よりも参加人数は減少しています。 地元食材を使ったメニューは、老若男女を問わず非常に好評です。 食材の美味しさや郷土の良さを伝えるために周知の継続を行っていきます。</p>	B
<p>女性農業者のエンパワーメント（※）の促進 【農政課】</p> <p>《事業内容》 産業の確立と「とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」の推進に向け、女性農業者に対して認定農業者への誘導を行います。</p>	<p>地域農業での女性の活躍を推進するため、女性認定農業者への誘導を行いました。平成30年度末の本市女性認定農業者数は85人です。 女性農業者の家族経営協定については、年間で新たに3件の協定が締結され、1件の見直しがありました。</p> <p>《評価・課題等》 女性認定農業者の申請及び家族経営協定を結ぶ女性が増えています。 女性農業者が輝く環境を更に推進するためにより一層の指導・誘導を行っていきます。</p>	B
<p>農業分野における女性起業家の育成支援 【農政課】</p> <p>経済的に自立でき、継続性のある女性起業家の育成支援を行います。また、6次産業化への支援を行います。</p>	<p>市農業生活研究グループにおいて、女性起業の育成研修を含めた「クラブ員のつどいと研修」を開催し、「太子食品工業日光工場」を視察しました。 期日：平成30年6月14日（木） 女性16人参加</p> <p>《評価・課題等》 意欲ある女性農業者が増えており、農生研グループでも積極的に活動しております。 市としても今後も引き続き女性農業者への支援を行っていきます。</p>	B
<p>家族経営協定推進事業 【農業委員会】</p> <p>《事業内容》 家族従業者として農業に携わる女性が、男性と対等なパートナーとして経営に参画できるよう、家族間のルールづくりを支援するとともに、家族経営協定の締結を推進します。</p>	<p>認定農業者の申請及び農業者年金加入の際に、市農政課等と連携して推進活動を行いました。 その結果、年間で新たに5件の協定書が締結され、1件の見直しを行い、累計締結件数は362件となりました。</p> <p>《評価・課題等》 認定農業者等の増加により、締結件数は増加傾向にあります。 農家における女性の役割は増大しており、今後も現在協定書を締結している農家の締結内容の見直しも含めて推進していく必要があります。</p>	A

(※) エンパワーメント：女性が自分自身の生活と人生を決定する権利と能力を持ち、様々なレベルの意思決定過程に参画し、社会的・経済的・政治的な状況を変えていく力を持つことを意味します。

### 施策の方向3 地域社会への男女共同参画の促進

#### 施策(1) 市民活動との連携・支援

事業	平成30年度実施状況	評価
<p>男女共同参画地域推進員との連携と支援</p> <p>【政策推進課】</p> <p>《事業内容》 県が委嘱する栃木県男女共同参画地域推進員の活動に対し、連携や情報提供等の積極的な支援を行います。</p>	<p>男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の推進と女性問題の課題解決を図るための積極的な地域活動を目的に組織されている男女共同参画地域推進員大田原市連絡会と連携を図り、啓発活動に努めます。</p> <p>地域推進員：30人（平成31年3月31日現在）</p> <p>《評価・課題等》 男性の登録者が1名誕生しました。今後も男性への積極的な登録促進が必要だと思われます。</p>	B
<p>商工会議所等女性部への支援</p> <p>【商工観光課】</p> <p>《事業内容》 女性の力で地域を元気にするため女性経営者で組織された、大田原商工会議所女性部の活動に対して支援を行います。</p>	<p>商工会議所を通じ、商工会議所女性部の活動に対して支援を行いました。（大田原商工会議所女性部講演会、栃木県商工会議所女性部懇談会、健康セミナー参加など）</p> <p>事業費：180,000円</p> <p>《評価・課題等》 商工会議所との連携が図られており、目的は達成されているものと思われます。</p>	A
<p>女性団体連絡協議会の連携と支援（再掲）</p> <p>【政策推進課】</p> <p>《事業内容》 女性の活躍推進を目的に、女性団体の育成を推進し、組織の活性化を図ります。</p>	<p>男女共同参画社会の実現を目指して、女性の地位の向上と、住みよいまちづくりに貢献することを目的に組織されている大田原市女性団体連絡協議会の自主性を尊重しながら連携を図り、協力体制の強化を図りました。</p> <p>加入団体：7団体</p> <p>《評価・課題等》 団体の活動を支援していくとともに、新規加入に向けて働きかけをしていきます。</p>	B

施策(2) 防災活動における男女共同参画の促進

事業	平成30年度実施状況	評価
<p>地域での防災活動への参加促進 【危機管理課】</p> <p>《事業内容》 男女双方の視点で防災活動や避難所運営を行うことができるよう、女性の防災活動への参画を推進します。</p>	<p>・佐久山地区における市防災訓練において、自治会や自主防災組織による避難訓練（参加者148人のうち女性43人）や炊き出し訓練を行いました。</p> <p>・市内自治会（6自治会）や団体（1団体）から依頼があり防災講演を実施しました。参加者は延べ160名であり、うち約3割近くが女性でした。</p> <p>・消防団は団員数945人に対し女性団員は23人となっています。（平成31年3月31日現在）</p> <p>《評価・課題等》 地域住民の避難訓練であったので、男女の別なく参加を得ることができました。</p> <p>自治会単位での自主防災組織の結成を推進していく中で、それぞれの組織内で、男女の別なく活動に参加できる組織づくりを支援していく必要があります。</p>	B
<p>防災士資格取得の促進 【危機管理課】</p> <p>《事業内容》 地域防災のリーダーとしての女性の活躍を推進するため、防災士資格取得を促進します。</p>	<p>防災士養成講座受講者30名のうち女性の受講者は4名でした。</p> <p>《評価・課題等》 平成29年度の女性受講者数は1名でしたが、平成30年度は4名と増加しました。今後も継続して、自主防災組織、自治会に対して女性の受講者の参加を呼び掛けていきます。</p>	B